

川越市地域自立支援協議会

- ・ 令和 6 年度 部会 活動報告
- ・ 令和 7 年度 部会 協議概要（案）

- ▶ 仕事・活動部会
- ▶ まちづくり部会
- ▶ こども部会
- ▶ 地域移行部会

令和 7 年 3 月 7 日
川越市地域自立支援協議会第 2 回全体会

部会名 仕事・活動部会

1 委員及び関係者（○：部会長 ＊：主任相談支援専門員）

	氏 名	選出（所属）団体名等
委員	○ 原 恭 子	障害者就業・生活支援センターかわごえ
	大 類 由 佳	埼玉県立川越特別支援学校
	神 田 純 徳	川越公共職業安定所
	小 林 幸 路	社会福祉法人 皆の郷
	八 木 大 介	川越市立特別支援学校
相談員	* 水 沼 友 美	川越市障害者総合相談支援センター
	小 川 紗也香	川越市障害者総合相談支援センター
	* 佐 藤 美 幸	相談支援事業所さぷり

＊敬称略

2 開催日

令和6年8月1日（火）、11月6日（水）、令和7年1月31日（金）

3 協議事項及び概要

(1) 就労支援体制の整備に係る検討

就労系事業所との連携課題について「アセスメントシートの仕様又は活用の課題」や「一般就労後における引継ぎの課題」等が挙げられた。課題解決に当たり、就労系事業所との情報共有及び連携促進の場を設けることの検討がなされた。

協議の結果、令和7年度に「就労系事業所との情報交換会」を実施予定とし、「就労選択支援の事業説明」及び「グループワーク」等を構成候補とした。

(2) 活動の推進に係る検討

障害のある方の余暇活動について、支援者個々の情報量の格差や情報発信等が課題として挙げられた。そのため、現状把握として社協作成の社会資源マップを共有し、障害者の居場所及び余暇の在り方等について検討がなされた。

協議の結果、就労や余暇活動の多様化を認識するとともに、支援者側も社会の変化に対応しながら活動の概念やあり方を捉えなおすこととし、令和7年度以降について、個別事例を通して「その人らしい生き方」や「多様なライフスタイル」といった、より広義の「活動」について協議していく予定とした。

(1) 就労系事業所との連携強化について

令和7年度第2回部会において「就労系事業所との情報交換会」を開催予定とする。なお、当該情報交換会は毎年度実施予定とし、テーマ等に応じて参加事業所の調整を図ることとする。(以下、テーマ等に関する主な意見(案))

就労系事業所との情報交換会(案)	
テーマ「ひとりひとりに合う日中活動」	
(1) 説明・報告 「就労選択支援について」(市)、「教育機関からの実践報告」(学校)	
(2) グループワーク ①事業所種別ごとに編成し、ステップアップ支援の課題等を協議 ②事業所種別混合で編成し、引継ぎにおける課題等を協議 ※演習時間を多く取るために、発表は2～3グループに限定する	
対象者 就労系事業所(生活介護は除く)、相談支援専門員、教育機関、自立相談支援センター、特例子会社の社員(支援者)	
テーマ「横の繋がり強化、多機関連携」	
(1) 説明・報告 「就労選択支援について」(市)、事業説明(就労系事業所)	
(2) グループワーク ・他機関との連携についての困難事例を発表(発表者を事前に決める) ・各グループで事例についてアイディアを出し合う(GSVに近い形で) ※アンケートを配布し終了後に回収する	
対象者 就労系事業所(就労移行支援、就労継続支援A型・B型、多機能型)、障害者就業・生活支援センターかわごえ、委託相談員	
テーマ「今さら聞けない…就労系事業所ってどんなところ？」	
(1) 説明 就労系事業所による事業内容及び対象者等の説明	
(2) 事例共有 就労系事業所による活動報告及び対応困難事例等の共有 ※事業所に繋がった利用者の活動状況等の共有を中心に	
対象者 就労系事業所、相談支援事業所、障害者就業・生活支援センターかわごえ	

(2) 活動に係る個別事例の情報共有等について

個別事例を通して、多様化する活動についての情報共有を図る。また、支援上の課題を抽出し、「就労系事業所との情報交換会」のテーマとの関連性をもって、改善・解消を図っていく。

部会名 まちづくり部会

1 委員及び関係者（○：部会長 ＊：主任相談支援専門員）

	氏 名	選出（所属）団体名等
委員	○ 金 本 徳 夫	社会福祉法人 親愛会
	阿 部 浩 一	社会福祉法人 川越にじの会
	内 山 智 裕	社会福祉法人 けやきの郷
	高 梨 雅 子	社会福祉法人 川越市社会福祉協議会
	種 子 幸 奈	弁護士法人 川越法律事務所
相談員	* 山 田 英 紀	川越市障害者総合相談支援センター
	茂 木 将 史	川越市障害者総合相談支援センター
	浜 田 和 仁	川越市障害者総合相談支援センター

＊敬称略

2 開催日

令和6年8月6日（火）、11月8日（金）、令和7年2月17日（月）

3 協議事項及び概要

(1) 相談支援体制に係る協議

「地域生活支援拠点の検証・検討」及び「日中サービス支援型共同生活援助の評価」を実施した。なお、日中サービス支援型共同生活援助の評価について、従前の評価は書面のみによる評価であったが、より適切な評価体制の確保に当たり、今年度より事業所の管理者等を部会へ招集し、ヒアリングを含めた評価を実施した。

【地域生活支援拠点に係る検証及び検討】

- ・地域生活支援拠点事業 受託事業者：社会福祉法人 皆の郷
- ・検証及び検討方法：書面及び対面によるヒアリング

【日中サービス支援型共同生活援助の実施状況等の評価】

- ・日中サービス支援型共同生活援助 評価対象事業者
 - ① ソーシャルインクルー株式会社 ② 株式会社恵 ③ 医療法人社団ゆうしん
- ・評価方法：書面及び対面によるヒアリング

(2) 権利擁護・虐待防止に係る協議

障害者福祉施設従事者等による障害者虐待事案について、情報共有又は検証を実施した。取り扱った事案については、身体的虐待事案と性的虐待事案であり、対応に関する意見交換や今後の対応に関する助言を実施することによって、障害者虐待の対応強化を図った。

(1) 相談支援体制の推進に係る協議

相談支援体制の構築に関連する各事業等の一層の推進に当たり、主に以下について状況把握又は検証並びに評価等を実施する。なお、以下に未記載の相談支援体制の構築に関連する事業等については、適宜、議題として調整を図る。

- ・ 地域生活支援拠点の検証及び検討
- ・ 日中サービス支援型共同生活援助の評価
- ・ 相談支援連絡会の実施に関する意見聴取

(2) 障害者虐待事案に関する共有及び検証

障害者虐待に係る対応の強化等を目的として、障害者虐待事案について検証等を実施する。なお、取り扱う事案については、虐待認定事案又は虐待の判断ができなかった（虐待判断未事案）を予定する。

部会名 こども部会

1 委員及び関係者（○：部会長 ＊：主任相談支援専門員 △：医療的ケア児等コーディネータ）

	氏 名	選出（所属）団体名等
委員	○ 溝 井 啓 子	チューリップ親の会
	遠 藤 政 子	川越手をつなぐ育成会
	水 見 哲 也	社会福祉法人 ともいき会
	柳 沢 真理子	一般社団法人 川越市医師会（川越市訪問看護ステーション）
	吉 田 将 史	社会福祉法人 ハッピーネット
相談員	＊ 新 津 重 隆	川越市障害者総合相談支援センター
	名 取 奈 美	川越市障害者総合相談支援センター
関係者	△ 浜 田 和 仁	ゆめの園初雁障がい者相談支援センター
	△ 島 野 直 哉	障害者生活支援センターともいき
	丹 野 良 子	埼玉県医療的ケア児等支援センター 地域センターかけはし

＊敬称略

2 開催日

令和6年8月9日（金）、11月12日（火）、令和7年1月31日（金）

3 協議事項及び概要

(1) 障害児の支援に係る協議について

放課後等デイサービス事業所等における障害児への不適切な支援事例について、意見交換等を実施した。取り扱った事例については、強度行動障害を有する障害児の支援事例であり、対応に関する意見交換や今後の対応に関する助言を実施することによって、障害児支援の対応強化を図った。

(2) 医療的ケア児の支援に係る協議について

＊療育支援課、川越市児童発達支援センターの参画

令和5年度に「医療的ケア児の支援に係る協議の場」として位置付け、医療的ケア児等コーディネータ等の参画及び協力を得て、協議の場の方向性について検討がなされた。

協議の結果、川越市児童発達支援センターのひかり保護者会によって作成された「子育てお役立ち情報」を参考として、医療的ケア児支援について集約したガイドブックの作成を進めていくこととした。

今後は、ガイドブック作成に当たってのワーキングチームの設置や関係機関との連携等について協議していくこととしている。

(1) 障害児支援に係る共有及び検証

障害者支援に係る対応の強化等を目的として、支援事例又は不適切な支援事例等について検証等を実施する。

(2) 医療的ケア児の支援に係る協議

医療的ケア児の支援に係るガイドブックの作成にあたり、ワーキングチームの設置を進める。また、医療的ケア児及びその保護者等との情報交換や関係機関との連携を推進し、当事者が活用しやすく、当事者の想いの詰まったガイドブックとなるよう調整を図る。(以下、参考資料)



部会名 地域移行部会

1 委員及び関係者（○：部会長 ＊：主任相談支援専門員）

	氏 名	選出（所属）団体名等
委員	○ 高 橋 幸 裕	山梨県立大学
	岩 間 亜 希	川越市保健所 保健予防課
	檜 村 千 寛	特定非営利活動法人 サポートあおい
	西 川 祐 一	一般社団法人 川越市医師会（西川病院）
	野 沢 桂 子	川越市やまぶき会
相談員	* 宮 田 一 久	川越市障害者総合相談支援センター
	島 野 直 哉	川越市障害者総合相談支援センター
関係者	戸 田 竜 也	相談支援事業所ヨハク
	* 山 内 智 史	相談支援事業所ヨハク

＊敬称略

2 開催日

令和6年8月2日（金）、11月1日（金）、令和7年1月27日（月）

3 協議事項及び概要

(1) 精神障害者の地域移行等に係る協議

精神科病院からの退院支援事例について、意見交換等を実施した。取り扱った事例については、退院支援における好事例や支援課題のある事例であり、対応に関する意見交換や情報共有を実施することにより、地域移行支援の実践に係る課題の共有を図った。

(2) 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム（にも包括）に係る協議

令和5年度に「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムに係る協議の場」として位置付け、地域移行支援を実践している事業所の支援員に参画及び協力をいただき、協議の場の方向性等について検討がなされた。

協議の結果、「医療機関に対する地域移行支援の周知不足」等が課題として挙げられたことから、課題解決に当たり、「令和6年度川越市精神保健福祉連絡会議（川越市保健所保健予防課所管）」へ参画し、医療関係者に対して「精神科病院からの地域移行」に関する理解促進及び課題共有並びにネットワークの構築を図った。

(1) 地域移行支援事例に係る共有及び意見交換

地域移行支援の実践に係る課題の抽出等を目的として、精神科病院からの退院支援事例について意見交換等を実施する。なお、抽出された課題等については「にも包括に係る協議」との関連性をもって、改善・解消を図っていく。

(2) 「にも包括」に係る協議

「にも包括」の構築に関して、認識の共有を図り、段階的に協議を進めていくこととする。(以下、主な協議事項)

- ・「どのような川越を目指すか」「どのような川越にしたいのか」という理念及びビジョンの設定と共有
- ・「にも包括」の構成要素、視点などの共有
- ・現状把握、阻害要因の特定、取組み・数値目標の設定、評価

